

# やまぼうし通信

NO. 127 2022年8月1日

## ねんどていきそうかい 2022年度定期総会

ねんどていきそうかい がつ にち きん じ しみんかつどう かいさい  
2022年度定期総会を6月24日(金)18時~ひの市民活動センターで開催しました。  
じぎょうほうこく けっさんほうこく かんさほうこく じぎょうけいかく かつどうよきん へんさいげんしおよ へんさいけいかく しんせい  
事業報告・決算報告・監査報告・事業計画・活動予算 返済原資及び返済計画・新生エンプロ  
ジェクトについて・新理事の就任等、議決事項は全て承認されました。  
また こんきけっさん えん くろじ ねんれんぞくくろじ たっせい みなさま しえん どりよく  
又、今期決算では925,586円の黒字となり2年連続黒字を達成しました。皆様の支援・努力の  
たまもの  
賜物です。ありがとうございました。

### ねんど ほうじんやくいん せいかいじん 2022年度の法人役員・正会員

りじちよう いとう いさお  
理事長 : 伊藤 勲  
ふくりじちよう くさばきよのり  
副理事長 : 草場清則  
りじ かしひひろゆき はるぐちあきお ふじのたつや  
理事 : 柏井宏之 春口明郎 藤野達也  
かんじ やざき いさお  
監事 : 矢崎 功  
せいかいじん とくらたかひさ かとうようすけ かわいたくま ますじまきょうこ  
正会員 : 都倉高久 加藤陽介 河合琢磨 増島恭子



りじ あら めい くわ  
理事に新たなメンバー3名が加わりました!

しんりじ わこうはなご かもだひろゆき きくちますお  
新理事 : 和光花子 鴨田裕之 菊池益生

こんご ちからぞ ねが  
今後ともどうぞお力添えをお願いします。

## しんせい と く みらい よ 新生エンプロジェットの取り組む未来に寄せて

ふくりじちよう くさばきよのり た まぼうすいぎけんかぶしきがいはいしや だいひょうとりしまりやく  
副理事長 草場清則 (多摩防水技研株式会社 代表取締役)

ねん がつ にち そうかい しんせい ていあん  
2022年6月24日の総会にて、新生エンプロジェットの提案がなされました。エンプロジェットのきくねんの1  
月から、事業承継 に向け20回以上の会合を重ねたどり着いた新たな地平かと思えます。伊藤理事長と約20  
年間、認定NPO法人やまぼうしにかかわらせていただいた理事の一人として、私 なるの思いを一言  
の述べさせていただきます。やまぼうしの20年について、様々な見解があると思いますが、よくぞここまで  
たたか つづ 戦い続けたなどの感想が第一です。それなりのおおぶろしき 理事長は広げてきましたが、  
ま 曲がりなりにもちゃんと形 にしてきたと思えます。時代時代の課題に向かい合い、かかわるすべての人(完全  
とは言いなくても)に寄り添ってきた20年かと思えます。今までやまぼうしを支えてこられた方々・利用者さ  
しよくいん みなさま りじちよう りじ かがたがた こころ おれい もう あ  
ん・職員 の皆様、そして理事長や理事の方々、心 より御礼申し上げます。ありがとうございました。

かんが かつ しゃかいじょうきょう げきへん げきどう じだい なか  
考え方と社会状況 が激変する激動の時代の中で

みなさま じっかん おも しゃかい おお へんかんき にほん けいぎせい こうちよくか ひと  
皆様も実感されていると思いますが、社会は大きな変換期にあります。日本の経済システムの硬直化・人  
やインフラのろうれいか しょうしか おんだんか ともな しぜんかんきょう げきへん てき お だいしんさい  
やインフラの老齢化と少子化・温暖化に伴う自然環境の激変・タイムリミットの起るであろう大震災、

挙げればきりがありませんがこれらは、見えていた今の時代が抱えた課題でした。更にウクライナに象徴される国家間の政治的バランスの激変・コロナ禍が加わります。否応なしに、社会は劇的に変化していきます。ダーウィンではありませんが、社会の変化に適応できた組織(生物)のみが生き残ります。多くの利用者さんと共にあるやまぼうしもこの渦中にあります。生き残る為には、変革する能力を身に付けるしかありません。目標を定める能力・定めた解決策を実行し変わりつづける組織になる必要が有ります。

このコロナ禍について、これは神様の思召し的な表現をされる方々があります。多くの方が亡くなっている現状に対しての表現としては抵抗がありますが、一度立ち止まり、今までの価値観・考え方を見直し、自分と自分達の生き方そのものを考えなおす時とは思います。自然と人間社会・他者と自己、あまりに人や自己本位の生き方が招いた結果の現状です。

## 現状を見つめましょう。自分達を取り巻く状況の把握と解決策は？

ある公務員の方が、福島復興支援に赴任し、福島の中「小企業」の支援に当たられました。そこで痛感されたこと。いくら補助金等で支援をしても、経営者やリーダー達の意識が変わらなければ復興は無理だということ。状況把握し、経営者として幹部として、自己変革と会社を根っこから変え未来を描く覚悟がなければ復興はあり得ない。…水が無い。水をただ配るのは、解決策と言えない。水は飲み干せば消える。井戸を掘る技術・力を身に付けるために努力すること。一緒に頑張ること。この公務員の方達は、日本の抱える現状を解決するに『伴走支援』という、企業や組織が変わるためのシステム作りをしています。一緒に考え、組織が自走するまで伴走者として援助すること。徐々に動き始めています。…新生エンプロのスタートの原点は、現状の把握と未来への計画策定。計画図(マンガラート)は、徐々にできつつありますね。ガンバです。

## しっかりした土台にしっかりした建物は建つ(20年の歴史と人の輪・そして想い)

新生エンプロは、事業承継に向かいます。目的は今まで以上に利用者さんが生き活きと過せるやまぼうし。働く職員の労働環境・生きがい<sup>が</sup>が十分発揮できるやまぼうし。皆が心が微笑み合えるやまぼうし。職員さんの笑顔があれば、利用者さんの笑顔に繋がります。生きがいにもなります。次の時代の理想的な建物像を描いて欲しいです。20年の実績で、人・空間・信用等、次のステップに向かう土台は出来ていると思います。…夢だけを新生エンプロに押し付けるようですが、より豊かに、そして生き残る為です。

今回、新しい理事さんが3名誕生しました。元やまぼうし職員の方・やまぼうし現業のスタッフ2名の方です。より現実的な課題を背負い提案・実行できるようになります。計画も実情に沿った形でより大胆な企画が産まれることを願います。

## ダイナミックな人のうねりと、確実な未来像の組み立てと。

コミュニティネットワーク協会と理事長達が関わり、(現在のやまぼうしとラップさせた)未来に向けた試みの『まつまる』は、7月末にオープン予定。毎回30名以上の参加で事業部会が開かれ、障がいを持つ人や高齢者の方々も一緒に暮らせる街づくりに向け動いてきました。老齡化が進む中で理想的な街づくりの一つとして、多くの人に関わり、とてもダイナミックなうねりを感じます。一方で、生活としてのやまぼうしを形作るのには、堅実に日々の生活を支える職員の方々です。この理想と現実、両者が上手くかみ合い、組織として展開することでやまぼうしの未来像が描けると思っています。職員の方々・利用者さんと支援される方々。新生エンプロにご協力のほどお願い申し上げます。やまぼうしの生き残り<sup>と</sup>より豊かな未来に向けて。